

演習問題



甲状腺・子宮頸部・膀胱

①甲状腺 55歳 女性

<参照> 部位別テキスト
甲状腺

- 2025/06/06 のどにしこりを感じ心配になり、D病院受診。
- 2025/06/12 頸部超音波検査を施行。甲状腺に35mm径の腫瘤を認めた。
同部で穿刺吸引細胞診施行。
甲状腺周囲リンパ節に腫大は認めない。
細胞診結果（Adenocarcinoma）等から
甲状腺癌と診断。
本人の希望により、治療目的に当院紹介。
- 2025/06/27 当院初診。
超音波検査施行。甲状腺中央に35mm*25mm径の腫瘍あり。
- 2025/07/03 CT検査では、他の臓器への転移は認めなかった。
前医での検査の結果も併せ、甲状腺癌の診断。
手術を行うことを本人に説明した。
- 2025/07/23 手術目的に入院。
- 2025/07/24 甲状腺全摘術施行。
- 2025/08/05 経過良好にて退院。
退院時、ホルモン補充療法としてチラーヂンを処方。

【病理報告<手術>】 Poorly differentiated carcinoma

腫瘍は35mm*23mm径の低分化癌です。
甲状腺周囲へのわずかな浸潤が認められます。
断端に癌組織は見られません。
I:0/3、II:0/3、右IV:0/3、左IV:0/3、右V:0/3
(リンパ節番号は取扱い規約に準ずる)

⑦側性	☐ 1.右 ☐ 2.左 ☐ 3.両側 ☐ 7.側性なし ☐ 9.不明
⑧原発部位	大分類
	詳細分類
⑨病理診断・組織型・性状	

診断情報

⑪診断施設	☐ 1.自施設診断 ☐ 2.他施設診断
⑫治療施設	☐ 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明 ☐ 2.自施設で初回治療を開始 ☐ 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続 ☐ 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診 ☐ 8.その他
⑬診断根拠	☐ 1.原発巣の組織診 ☐ 2.転移巣の組織診 ☐ 3.細胞診 ☐ 4.部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5.臨床検査 ☐ 6.臨床診断 ☐ 9.不明
⑭診断日	☐ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令
⑮発見経緯	☐ 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3.他疾患の経過観察中の偶然発見 ☐ 4.剖検発見 ☐ 8.その他 ☐ 9.不明

進行度

⑯進展度・治療前	☐ 400.上皮内 ☐ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移 ☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移 ☐ 777.該当せず ☐ 499.不明
⑰進展度・術後病理学的	☐ 400.上皮内 ☐ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移 ☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移 ☐ 660.手術なし・術前治療後 ☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

自施設初回治療

観血的治療	⑱外科的	☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明
	⑲鏡視下	☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明
	⑳内視鏡的	☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明
	㉑観血的治療の範囲	☐ 1.腫瘍遺残なし ☐ 4.腫瘍遺残あり ☐ 6.観血的治療なし ☐ 9.不明
その他治療	㉒放射線療法	☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明
	㉓化学療法	☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明
	㉔内分泌療法	☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明
	㉕その他治療	☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

㉖死亡日	☐ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令		年	月	日
------	--	----------------------	---	---	---

備考

②子宮頸部

60歳 女性

<参照>部位別テキスト
子宮頸部

【現病歴】

2025/03/26 Cクリニックにて、がん検診実施。
子宮頸部異形成の細胞を認めたため、
Cクリニックからの紹介状を持参し、当院へ受診。

【経 過】

2025/04/07 当院婦人科を初診。
膣拡大鏡にて2cmの病変を認め、細胞診施行。
超音波検査では異常所見なし。

2025/04/14 細胞診の結果『Squamous cell carcinoma 陽性』

2025/04/23 円錐切除目的にて入院。

2025/04/24 子宮頸部円錐切除術実施。

2025/04/28 経過良好で退院。

2025/05/07 円錐切除の結果、上皮内癌であり、腫瘍もきれいに
取りきれているので、今後は外来で経過観察とする旨、
本人と家族に説明。

【病理報告】HSIL/CIN3

腫瘍は2*1cmで上皮内にとどまっている。
切除断端 (-)

⑦側性

☐ 1.右 ☐ 2.左 ☐ 3.両側 ☐ 7.側性なし ☐ 9.不明

⑧原発部位

大分類

詳細分類

⑨病理診断・
組織型・性状

診断情報

⑪診断施設

☐ 1.自施設診断 ☐ 2.他施設診断

⑫治療施設

☐ 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明
☐ 2.自施設で初回治療を開始
☐ 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続
☐ 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診
☐ 8.その他

⑬診断根拠

☐ 1.原発巣の組織診 ☐ 2.転移巣の組織診 ☐ 3.細胞診
☐ 4.部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5.臨床検査 ☐ 6.臨床診断 ☐ 9.不明

⑭診断日

☐ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令

⑮発見経緯

☐ 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3.他疾患の経過観察中の偶然発見
☐ 4.剖検発見 ☐ 8.その他 ☐ 9.不明

進行度

⑯進展度・治療前

☐ 400.上皮内 ☐ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移
☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移
☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

⑰進展度・
術後病理学的

☐ 400.上皮内 ☐ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移
☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移 ☐ 660.手術なし・術前治療後
☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

自施設初回治療

観血的
治療

⑱外科的

☐ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし

☐ 9.施行の有無不明

⑲鏡視下

☐ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし

☐ 9.施行の有無不明

⑲内視鏡的

☐ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし

☐ 9.施行の有無不明

②観血的治療の範囲

☐ 1.腫瘍遺残なし

☐ 4.腫瘍遺残あり

☐ 6.観血的治療なし

☐ 9.不明

その他
治療

②放射線療法

☐ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし

☐ 9.施行の有無不明

③化学療法

☐ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし

☐ 9.施行の有無不明

④内分泌療法

☐ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし

☐ 9.施行の有無不明

⑤その他治療

☐ 1.自施設で施行

☐ 2.自施設で施行なし

☐ 9.施行の有無不明

②死亡日

☐ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令

年

月

日

備考

③膀胱 44歳 男性

<参照> 部位別テキスト
膀胱

【現病歴】

2024/12/05 健診で尿細胞診の結果、疑陽性。
2024/12/20 膀胱癌疑いと診断され、当院紹介。

【経過】

2025/01/06 当院初診。

2025/01/13 初診時の尿細胞診の結果『urothelial carcinoma,陽性』

2025/01/20 MRI施行。

所見：腫瘍は膀胱内にとどまっており、腎尿管に明らかな
占拠病変は指摘できない。

2025/01/22 膀胱鏡施行。

所見：Papillaryな腫瘍が多数。

Taの膀胱癌の診断で、TUR-BtとBCG膀胱内注入を行う旨、
本人と家族に説明。

2025/02/03 治療目的に本日入院。

2025/02/05 TUR-Bt、BCG膀胱内注入施行。

2025/02/10 経過良好にて退院

【病理報告】

Non-invasive papillary urothelial carcinoma , low grade , pTa

膀胱側壁、後壁、前壁からTURを施行。

腫瘍は全て非浸潤性のpapillary UC。断端は全て陰性。

⑦側性

☐ 1.右 ☐ 2.左 ☐ 3.両側 ☐ 7.側性なし ☐ 9.不明

⑧原発部位

大分類

詳細分類

⑨病理診断・組織型・性状

診断情報

⑪診断施設

☐ 1.自施設診断 ☐ 2.他施設診断

⑫治療施設

☐ 1.自施設で初回治療をせず、他施設に紹介またはその後の経過不明
☐ 2.自施設で初回治療を開始
☐ 3.他施設で初回治療を開始後に、自施設に受診して初回治療を継続
☐ 4.他施設で初回治療を終了後に、自施設に受診
☐ 8.その他

⑬診断根拠

☐ 1.原発巣の組織診 ☐ 2.転移巣の組織診 ☐ 3.細胞診
☐ 4.部位特異的腫瘍マーカー ☐ 5.臨床検査 ☐ 6.臨床診断 ☐ 9.不明

⑭診断日

☐ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令

⑮発見経緯

☐ 1.がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例 ☐ 3.他疾患の経過観察中の偶然発見
☐ 4.剖検発見 ☐ 8.その他 ☐ 9.不明

進行度

⑯進展度・治療前

☐ 400.上皮内 ☐ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移
☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移
☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

⑰進展度・術後病理学的

☐ 400.上皮内 ☐ 410.限局 ☐ 420.領域リンパ節転移
☐ 430.隣接臓器浸潤 ☐ 440.遠隔転移 ☐ 660.手術なし・術前治療後
☐ 777.該当せず ☐ 499.不明

自施設初回治療

観血的治療

⑱外科的

☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑲鏡視下

☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

⑳内視鏡的

☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

㉑観血的治療の範囲

☐ 1.腫瘍遺残なし ☐ 4.腫瘍遺残あり ☐ 6.観血的治療なし ☐ 9.不明

その他治療

㉒放射線療法

☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

㉓化学療法

☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

㉔内分泌療法

☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

㉕その他治療

☐ 1.自施設で施行 ☐ 2.自施設で施行なし ☐ 9.施行の有無不明

㉖死亡日

☐ 0.西暦 ☐ 1.明 ☐ 2.大 ☐ 3.昭 ☐ 4.平 ☐ 5.令

年 月 日

備考

C67.9膀胱（側壁、後壁、前壁）、Non-invasive papillary Urothelial carcinoma , low grade , pTa、BCG膀胱内注入



- ・この症例は登録対象になるの？
- ・形態コードはどれを選択したらいい？
- ・GTOLでの届出方法がわからない・・・

ご不明なことがあれば、
お気軽におたずねください。

公益財団法人兵庫県健康財団 がん登録室
〒651-2103 神戸市西区学園西町6丁目3-1
TEL 078-793-9340（平日9時～17時）
E-mail : h-gantouroku@kenkozaidan.or.jp